

備前市 事務事業 評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	財政調整基金事業	コード	02-01-07-04	担当課	保健課 保険医療係
事業実施期間	平成17年度から		担当者	末長章彦	
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれる まちづくり			
	中項目	やさしさあふれる まちづくり			
	小項目	保険給付(国保)			
	施策	財政調整基金の造成			

事業について	
目的	国民健康保険財政の健全な運営に資するため、財政調整基金を造成する。
対象 (誰のために)	備前市国民健康保険加入者
内容	基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法で保管し、経済事情の著しい変動等による財源不足に備える。

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
年度当初基金残高	544,284,800 円	人	人
年度内積立額	90,620 円	人	人
年度末基金残高	544,375,420 円	円	円

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	人件費	国庫補助金 受益者負担 市債	人件費	国庫補助金 受益者負担 市債	人件費	国庫補助金 受益者負担 市債	人件費	国庫補助金 受益者負担 市債
合計	0	一般財源等	0	一般財源等	0	一般財源等	0	一般財源等

結果指標①	結果指標名	基金増加額	
	結果指標量	90,620	
	単位	円	人
	対前年比	—	0.00%
結果指標②	結果指標名	基金増加率	
	結果指標量	0.02	0
	単位	%	円
	対前年比	—	0.00%

事業の成果			
成果指標名	基金保有率	式又は説明	年度末残高/保険給付費支出額×100
成果指標量	17年度 19.05	0	0
到達目標値	20%	到達目標年度	毎年度

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性 <input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等：国民健康保険法	課題認識 健全財政を担保するものであり、必要である。
市民ニーズの妥当性	対象の妥当性 <input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	
市の関与の妥当性	市民ニーズの妥当性 <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
コストの効率化	市の関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	
効率性の評価	コストの効率化 <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	安全かつ有利な方法として、金融機関への定期預金の方法で実施している。また、複数の預金方法により財政調整機能を担保している。
職場の効率化	手段の最適化 <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	
目的達成度	職場の効率化 <input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	目的達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	保険給付費の20%を目標として達成し、保険基盤の安定に資する。
市民参画度	成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 国保財政の安定のため、財政調整基金残高と平成18年度への繰越金の合計額は756,583,608円となり、17年度歳出合計4,458,813,129円の16.97%となっており、ほぼ目的を達成していると思量されるが、医療制度改革の影響額は未知数であり、今後も健全財政を維持させるため、基金の造成に確める必要がある。	評価区分 <A~E> C
------	--	------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度 結果指標量①	5,000,000円	結果指標量②	1%
目標値	結果指標量	20%	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	基金目安 過去3年間の平均保険給付費(老人拠出・介護納付を含む)の5%以上	随時	保険財政安定
妥当性	基金上限 過去3年間の平均保険給付費(老人拠出・介護納付を含む)の2.5%	随時	超過保険税の徴収抑制
有効性	上記範囲にあるよう、保管運用する	予算編成時	財政の健全化を図れる

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。